



2023 年の主な収集資料 (2/2)



カンパニアン期中期 (およそ 7,800 万年前)
のアンモナイト (80 cm)。大和治生氏^{はるのが}発見。



カンパニアン期後期 (およそ 7,400 万年前)
のアンモナイト (50 cm)。大和治生氏 (後ろ
のチェックのシャツの方) 発見。



アンモナイト

せっかいしつ
石灰質ノジュール



チューロニアン期中期 (およそ 9,100 万年前)
のアンモナイト (80 cm)。140 cmある球状
の石灰質ノジュール (炭酸カルシウムが濃集し
た岩石) の中に入っていました。



チューロニアン期中期 (およそ 9,100 万年前) の
アンモナイト (50 cm)

おおがた
大型のものは市販・手製のソリで
かいしゅう
回収しました。小さいものやひび割れ
ている物はザックに入れ、せお
背負って回
収しました。どれもとても重かったです。

学芸員 西村智弘^{ともひろ}

2023 年の調査研究での来館者



つじの やすゆき
辻野泰之学芸員（徳島県立博物館）、6/29、
はくあき ちしつちようさ
白亜紀の野外地質調査を行いました。



あずま ゆうだい
東 祐大氏（北海道大学大学院）、8/29 ~
9/2、
せきつい
脊椎動化石を観察されました。



さとう きょうじゅ
左：佐藤たまき教授（神奈川大学）、9/14 ~
16; 右：
たつや あしよ
新村龍也学芸員（足寄動物化石博物館）
クビナガリュウ
9/15 ~ 16、首長竜化石の研究を進めました。



かとう りょうが
加藤涼雅氏（神奈川大学）、9/14 ~ 15、首
長竜化石の観察をされました。



たくま きゆう ぽべつ
山口拓真氏（北海道大学）、10/14、旧・穂別村
の電化事業についての資料調査をされました。



よしひろ しぜんし
田中嘉寛学芸員（大阪市立自然史博物館）、
10/22、クジラ化石の観察・研究を進めました。

むかわ町穂別博物館

【公共交通機関による来館案内】 <http://www.town.mukawa.lg.jp/4356.htm>

（バス停「穂別中央」～博物館は徒歩約 10 分）

往路（札幌・苫小牧方面→博物館）

- ・新千歳空港 10:40 ①→穂別中央 12:03
- ・苫小牧駅 7:51 ②→鶴川駅 8:20 - (乗換) - 鶴川駅前 9:35 ③→穂別中央 10:45

帰路（博物館→札幌・苫小牧方面）

- ・穂別中央 16:17 ①→新千歳空港 17:40
- ・穂別中央 15:40 ③→鶴川駅前 16:45 - (乗換) - 鶴川駅 17:50 ②→苫小牧駅 18:19

①道南バス 新千歳空港直行便（1,500 円） 前日の 16 時までに予約（0145-45-2284） ② JR 日高本線（750 円）

③道南バス 穂別鶴川線（200 円） ※各料金は大人 1 人分

2023年 12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2024年 1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

休館日 町民無料観覧日